

**令和元年度
林業分野における新技術推進対策事業費補助金
森林づくりへの異分野技術導入・実証事業(異分野技術導入・実証)
補助事業概要説明書**

提出日:2020年〇月〇日

申請者:〇〇〇〇

事業名:〇〇〇〇

製品・サービス

イメージ等の

図を貼付

事業の実施内容

【提案を求める事項】

1. 解決しようとする森林づくりの課題

- 森林づくりの課題の中で、自社のサービス・製品にて解決しようとしている領域について説明すること。

2.. 補助事業者が実施する事業の全体像と、森林づくりの課題解決に与えるインパクト

- 自社のサービス・製品の概要(想定顧客、ソリューション、提供価値、価格等)を説明すること。
- 自社のサービス・製品が森林づくり分野に普及した際の、課題解決に与えるインパクトをできる限り定量的に説明すること。

3.. 顧客の課題・ニーズの把握・検証状況

- 事業開発計画において根幹をなしている、独自の課題設定、自社のサービス・製品のニーズについて説明すること。
- 上記を把握・検証した活動等があれば、その具体的な内容についても説明すること。

4.. 製品・サービスの差別化要素と開発状況

- 自社のサービス・製品が、既に実用化されている既存技術等に対してどう差別化要素があるのか、その内容と根拠を説明すること。
- 自社のサービス・製品が、現時点でどういった開発状況にあり、実用可能かどうかを説明すること。

5.. 事業化に向けた全体計画

- 事業化に向けた計画について今後2年間程度の計画(商品開発、販売、資金調達、体制構築等)を説明すること。

6.. 実証事業の計画と検証項目

- 本補助事業にて実施する実証事業の目的と内容を説明すること。
- 実証事業の実施にあたっての仮説と、その検証項目について説明すること。

7.. 実証結果によるピボットの可能性とその範囲

- 実証事業を進める中で、事業内容・計画の転換(ピボット)する可能性について、現時点で想定される内容を説明すること。

1. 解決しようとする森林づくりの課題

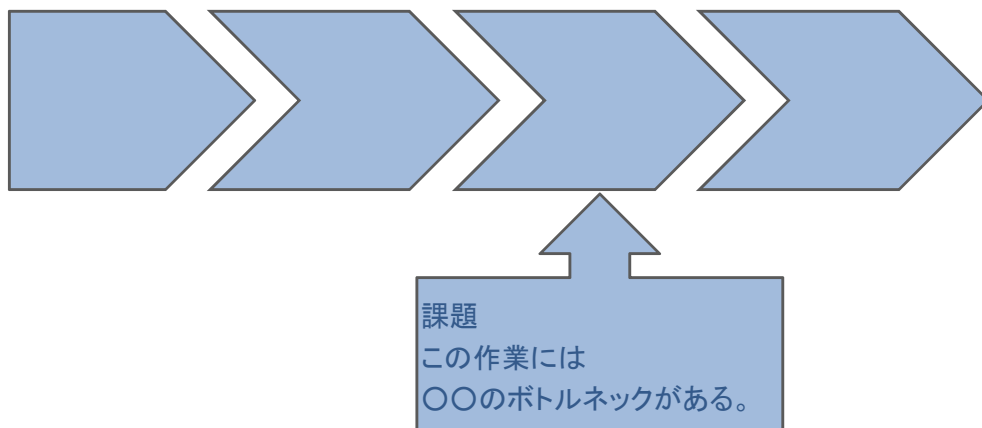
- 森林づくりの課題の中で、自社のサービス・製品にて解決しようとしている領域について説明すること。
- **(記入例)森づくりの課題**
 - 森林づくりにおける課題は〇〇である。〇〇によって、
 - 解決すべき課題は、〇〇業務における慢性的な〇〇不足の解決。

(記入例)森づくりの課題

□課題

森林づくりにおける課題は〇〇である。

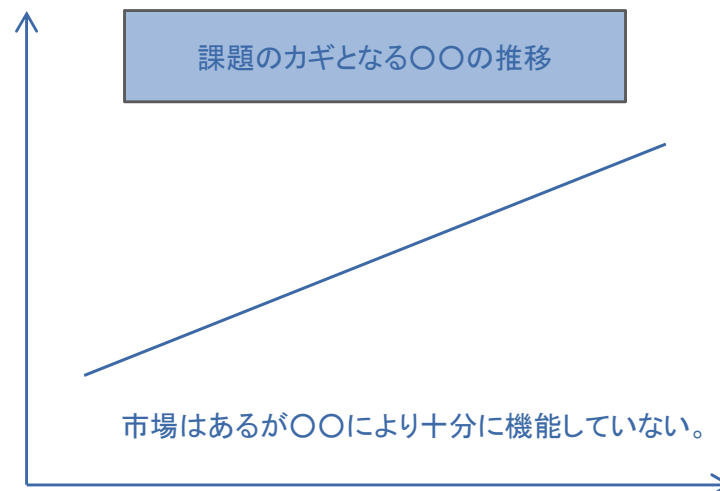
森づくりの作業フロー



(記入例)森づくりの課題

□課題

森林づくりにおける課題は〇〇である。



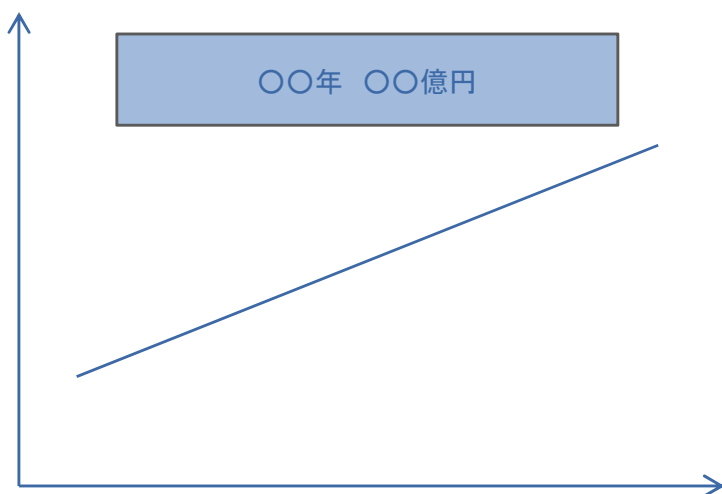
2. 補助事業者が実施する事業の全体像と、森林づくりの課題解決に与えるインパクト

- 自社のサービス・製品の概要(想定顧客、ソリューション、提供価値、価格等)を説明すること。
- 自社のサービス・製品が森林づくり分野に普及した際の、課題解決に与えるインパクトをできる限り定量的に説明すること。

■ (記入例)ユーザーニーズと対象市場

- 解決すべき課題は、〇〇作業における慢性的な〇〇不足の解決。
- その課題の根幹は〇〇にあり、そこにフォーカスした〇〇なソリューションが求められている。
- 当社が開発している〇〇という商品を〇〇に提供し、〇〇の課題を解決する。
- 〇〇作業コストは、〇〇億円。〇〇ニーズをとらえたサービスを提供することで、森づくりにおける〇〇の課題を解決する。

〇〇にかかる作業コスト(〇〇年)



自社商品概要

✓ 農業用に開発された〇〇

✓ 既に農業分野では〇〇個販売済み

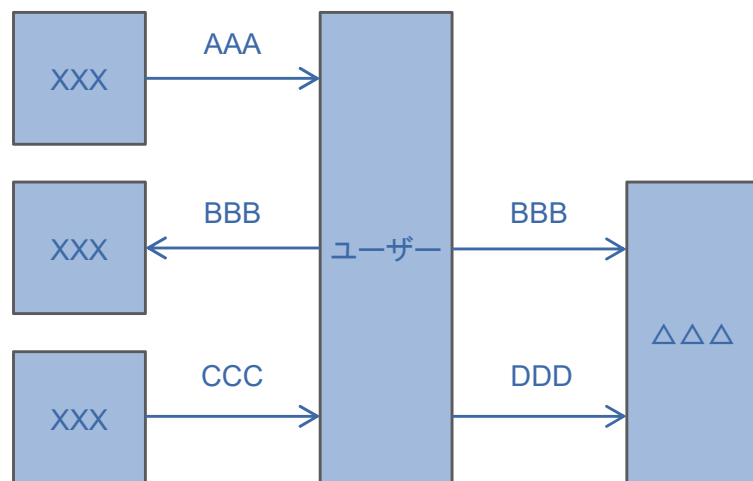
✓ 森づくり分野の〇〇の課題に利用できる可能性

2. 補助事業者が実施する事業の全体像と、森林づくりの課題解決に与えるインパクト

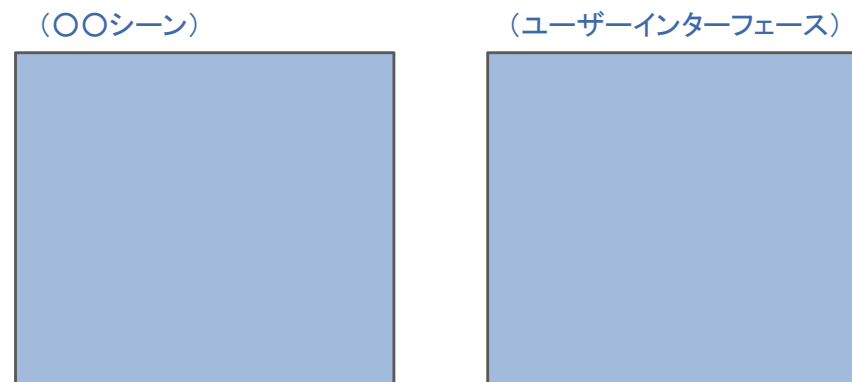
■ (記入例)サービス概要とビジネスモデル

- ○○向けに○○にフォーカスしたサービスを提供する。
- 当社の○○という商品を使用して○○向けに提供する。
- 将来的には、○○データの蓄積によって、○○サービスにも発展させることを検討している。
- 当サービス・商品によって、森づくりの○○業務に必要なコストが○○%(○○億円)削減することが期待できる。

ビジネスモデル概要



サービスの提供シーンイメージ



3. 顧客の課題・ニーズの把握・検証状況

- 事業開発計画において根幹をなしている、独自の課題設定、自社のサービス・製品のニーズについて説明すること。
- 上記を把握・検証した活動等があれば、その具体的な内容についても説明すること。

■ (記入例)独自の課題設定

- 解決すべき課題は、〇〇業務における慢性的な〇〇不足の解決。
- その課題の根幹は〇〇にあり、そこにフォーカスした〇〇なソリューションが求められている。
- なお、〇〇については、過去〇〇にて実施した〇〇調査により、〇〇の母集団に対して、〇%にニーズがあることが判明している。
- 実際に、

これまでの活動

✓ 既に〇〇分野の商品開発で実績

✓ 〇〇に自社の知見あり

✓ 〇〇ニーズを既に検証済み

把握しているニーズと独自の課題設定

✓ 〇〇の不足

✓ 〇〇にフォーカスしたソリューションの不在

✓ 〇〇の環境が未整備

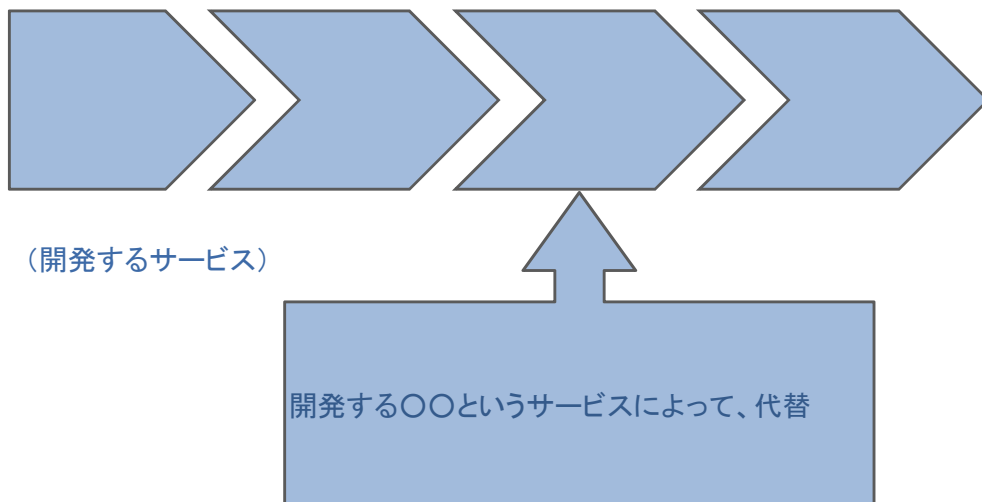
〇〇の解決が
森づくりの課題
解決につながる

4. 製品・サービスの差別化要素と開発状況

- 自社のサービス・製品が、既に実用化されている既存技術等に対してどう差別化要素があるのか、その内容と根拠を説明すること。
- 自社のサービス・製品が、現時点でこういった開発状況にあり、実用可能かどうかを説明すること。
- **(記入例)差別化要素**
 - 既存技術では根本的な〇〇という課題に対処できていないが、開発する製品は〇〇ができることによって対処できる。
 - 現時点で、〇〇用のプロトタイプは開発済みであり、技術的には実用化可能。〇〇などの特殊なケースでの利用は未検証。

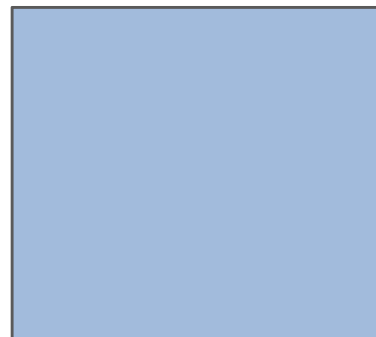
開発サービス

森づくりの作業フロー



開発製品イメージ

(既存技術)



(プロトタイプ)



5. 事業化に向けた全体計画(マーケットイン型例)

■ 事業化に向けた計画について今後2年間程度の計画(商品開発、販売、資金調達、体制構築等)を説明すること。

		2019(事業準備期間)				2020(事業実施期間)				2021(事業期間終了後)			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
事業開発	ユーザー特定課題特定		XXXX		XXXX	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○市と○○町に ○ヶ月間調査 </div>							
	プロトタイプ		XXXX		XXXX								
	現場実証		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○用のプロトタイプで ユーザーニーズを検証 </div>			XXXX		XXXX					
	ビジネスモデル構築		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○社と共同で検証 </div>			XXXX		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○月にサービスのリリースを目指す </div>					
リリース	事業化				XXXX			XXXX					

5. 事業化に向けた全体計画(プロダクトアウト型例)

- 事業化に向けた計画について今後2年間程度の計画(商品開発、販売、資金調達、体制構築等)を説明すること。

		2019(事業準備期間)				2020(事業実施期間)				2021(事業期間終了後)			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
設計 試作	コア技術 研究 開発		XXXX			XXXX	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○製作所と共同で ○号機完成 </div>						
	事業開発	特定 ユースケース		XXXX		XXXX		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○用のユースケース の開発を進める </div>					
現場実証			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○用ではオーバースペック であることが判明 </div>			XXXX	XXXX						
ビジネス モデル構築			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○社と共同で検証 </div>					XXXX					
リリース	事業化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○年○月に○○特許を取得 その成果を踏まえて資金調達 </div>				XXXX	XXXX			XXXX			

6. 実証事業の計画と検証項目

- 本補助事業にて実施する実証事業の目的と内容を説明すること。
- 実証事業の実施にあたっての仮説と、その検証項目について説明すること。
- **検証項目**
 - ○○のニーズがあるか？○○で既存の課題を解決しうるか？
 - ○○デバイスを用いることによる、○○の課題は解決しうるか。
 - ○○の範囲で○○の課題を解決可能か。
- **事業開発目標(サービス関連)**
 - ○年○月までに、○○の検証を終えること。
 - 上記の検証を持って、○○のサービス内容を確定し、○年○月をもってリリースすること。
 - ○○性能を既存○号機の2倍(○○以上)

7. 実証結果によるピボットの可能性とその範囲

- 実証事業を進める中で、事業内容・計画の転換(ピボット)する可能性について、現時点で想定される内容を説明すること。

- **ピボットが想定されるケース**
 - ○○のニーズが想定されたほどなかった場合
 - ○○の課題に対する解が○○ではなかった場合

- **ピボットの内容**
 - サービスを○○へ変更する。
 - 解決する課題を○○へと変更し、試作内容を○○へと変更する。
 - 当初想定していたよりも○○を○○へ仕様変更し、○○の課題解決を目指す。

- **ピボットの期限**
 - ○年○月までに、○○の検証の結果を鑑みて判断する。